



## 合併特例事業債は 8 事業 12 億 5120 万円

合併した市町村に特例として認められる合併特例事業債は、12 億 5120 万円を借り入れ、道路整備や用排水路整備事業など次の 8 つの事業に当てる予定です。合併特例債事業はその返済額の 70% が地方交付税として交付される有利な借金です。

|               |             |
|---------------|-------------|
| 市内用排水路整備事業    | 1 億 640 万円  |
| 農村環境整備事業      | 4770 万円     |
| 道路整備事業        | 5 億 8480 万円 |
| 都市計画街路事業負担金   | 1130 万円     |
| 柳川駅東部土地区画整理事業 | 2 億 7770 万円 |
| 消防施設整備事業      | 8960 万円     |
| 密集住宅市街地整備促進事業 | 1 億 870 万円  |
| 柳川駅周辺地区事業     | 2500 万円     |

合併特例事業債（市債）合計 12 億 5120 万円

## 地域振興基金から 8550 万円を活用

地域振興基金とは、合併前に旧市町ごとにあった基金（財政調整基金、減債基金などは除く）を、そのまま新市発足後 10 年間に限り、旧市町ごとに活用する 3 つの基金です。それぞれの旧市町単位の均衡あるまちづくりのため、次の事業に地域振興基金 8550 万円を活用します。

### ■大和地域振興基金

漁業団地整備費 550 万円

### ■三橋地域振興基金

柳川駅東部土地区画整理事業 8000 万円

## 歳入

歳入とは、1 年間に市に入るお金のことです（2 ページのグラフ参照）。  
市税は、景気低迷や固定資産税の税率統一によって、前年度より 4.3% 減少の、61 億 5444 万 3000 円を計上しています。

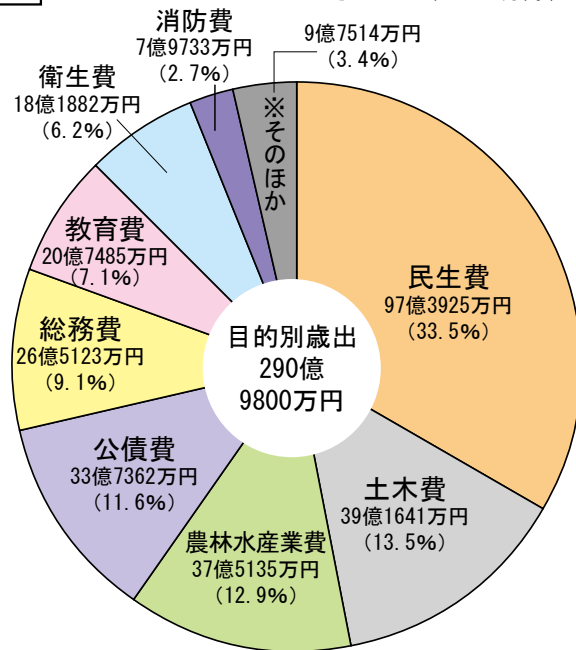
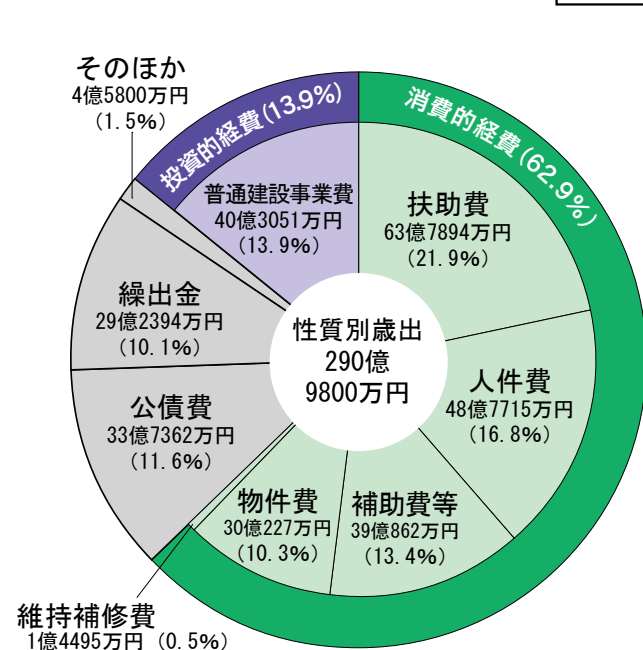
地方特例交付金については、「児童手当及び子ども手当特例交付金」が創設されたため、前年度より 46% 増加の 9900 万円を計上しています。

地方交付税は、標準的な行政運営に必要な経費を補うために国から交付されるもので、前年度より 4 億 5240 万円増加の 86 億 8500 万円を計上しています。これは、地方財政の財源充実・強化を図るために、国の地方交付税総額が増額されたためです。

国庫・県支出金は、特定の行政目的を達成するために交付されるもので、今年度は歳入全体の 22・7% に当たる 66 億 412 万 3000 円を計上しています。

## 歳出

※そのほかの内訳  
商工費 6 億 1101 万円 (2.1%)  
議会費 2 億 5746 万円 (0.9%)  
そのほか 1 億 667 万円 (0.4%)



# 290億 9800万円を計上

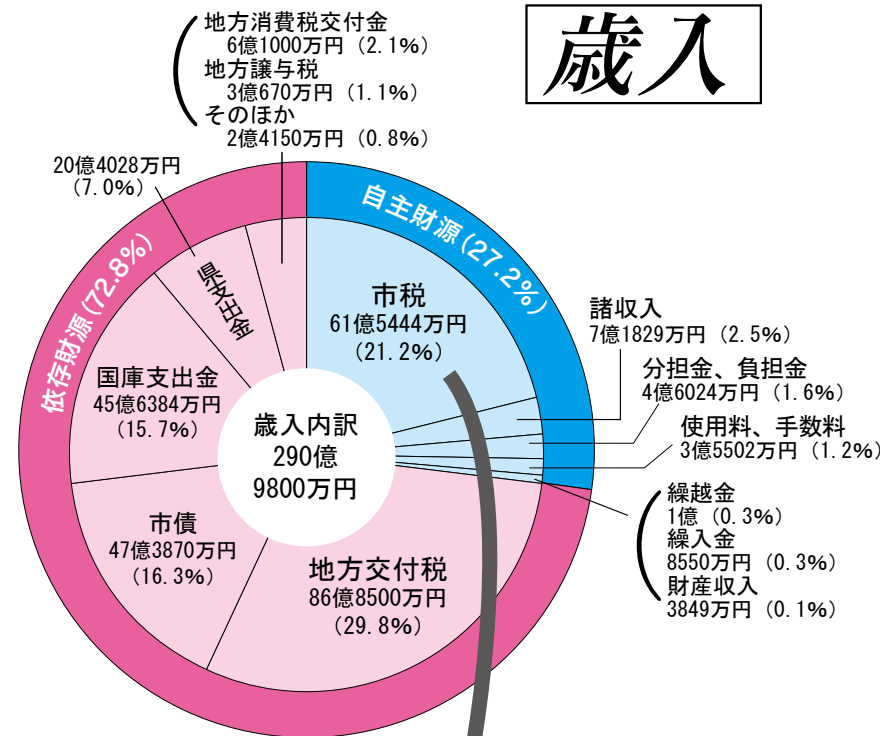
柳川市の平成 22 年度の一般会計予算が 3 月の市議会定例会で可決されました。予算総額は歳入、歳出いずれも 290 億 9800 万円です。前年度の肉付け予算（6 月補正）までの合計に比べて 19 億 6643 万 5000 円、率にして 7.2% 増加しました。

今年度も、財政の健全化の確保を図りながら、職員や経費の削減などによる行政改革の推進、限られた財源の有効活用などを念頭に予算編成を行いました。

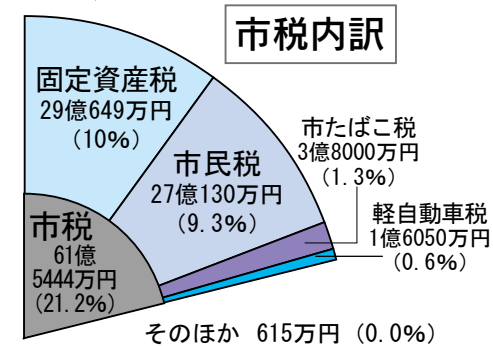
予算についての問い合わせは、市財政課（柳川庁舎 77・8432）まで。

（注）前年度当初予算は市長選挙のため、骨格予算として編成したので、本文中の予算比較は、前年度の肉付け予算（6 月補正）までの合計と行っています。

## 歳入



## 市税内訳



※市民 1 人当たりの市税額は 8 万 4651 円。内訳は固定資産税 3 万 9977 円、市民税 3 万 7155 円、市たばこ税 5227 円、軽自動車税 2208 円、その他 85 円です（平成 22 年 2 月末人口 7 万 2704 人で算出）。



次に、歳出について施策の内容ごとに紹介します。  
歳出とは、市が1年間に使うお金のことです。

## 歳出

次に、歳出について施策の内容ごとに紹介します。  
歳出とは、市が1年間に使うお金のことです。

### 国営筑後川下流土地改良事業で19億円負担

た観光振興事業費や中小企業支援事業費などの雇用対策基金事業費を計上したほか、農業関係では、女性農業者経営能力向上のための女性担い手育成支援事業を計上しています。また、国営筑後川下流土地改良事業の完了に伴い、19億4371万円の繰上償還負担金を計上しています。

建設費や、漁業団地整備費などを計上しています。さらに商工業関係では、柳川の地域資源を活用したブランド商品の開発などで産業の活性化を図る、ブランド推進事業費などを計上しています。

### 中学生までを対象に子ども手当を支給

教育・福祉の充実のための経費として、教育関係では、

## 平成22年度の主な事業

### ■産業の振興

|                       |           |
|-----------------------|-----------|
| 雇用対策基金事業費             | 1847万円    |
| 強い農業づくり交付金補助金         | 2095万円    |
| 農地水環境保全向上対策事業費        | 3466万円    |
| 女性担い手育成支援事業費          | 32万円      |
| 国営筑後川下流土地改良事業繰上償還金負担金 | 19億4371万円 |
| 県営農村振興総合整備事業負担金       | 1億1557万円  |
| 漁業団地整備費               | 1億1289万円  |
| 筑後船小屋駅情報発信施設整備負担金     | 150万円     |
| ブランド推進事業費             | 567万円     |

### ■教育・福祉の充実

|                             |           |
|-----------------------------|-----------|
| 中学校スクールソーシャルワーカー配置事業費       | 252万円     |
| 小中学校外国語講師派遣委託事業費            | 3200万円    |
| 歴史的建造物保存活用基本計画策定委託事業費       | 200万円     |
| 北原白秋生誕125年「思ひ出」発刊100周年記念事業費 | 105万円     |
| コミュニティセンター建設事業費             | 105万円     |
| はり・きゅう・マツサージ施設利用事業費         | 2950万円    |
| 後期高齢者医療事業費                  | 11億278万円  |
| 養育支援訪問事業費                   | 235万円     |
| 在宅等子育て支援事業                  | 1187万円    |
| 子ども手当費                      | 12億1810万円 |

### ■社会基盤の整備

|                 |           |
|-----------------|-----------|
| 大和枝光線道路整備事業費    | 1億1642万円  |
| 高橋中牟田線道路整備事業費   | 2億2673万円  |
| 塩塚川高潮対策番所橋架替事業費 | 1億4782万円  |
| 公共下水道繰出金        | 5億1077万円  |
| 柳川駅東部土地区画整理事業費  | 10億6095万円 |
| 柳川駅周辺地区事業費      | 5760万円    |
| 総合運動公園整備事業費     | 2027万円    |
| 密集住宅市街地整備事業費    | 2億6370万円  |
| 中山団地建替事業費       | 5億6874万円  |

### ■健康づくり・生活環境の保全

|                  |          |
|------------------|----------|
| 妊婦健康診査事業費        | 5324万円   |
| 不妊治療対策費          | 200万円    |
| 予防接種事業費          | 1億2117万円 |
| 健康診査がん検診事業費      | 4166万円   |
| 女性特有のがん検診事業費     | 1464万円   |
| 小型合併処理浄化槽設置事業補助金 | 1億9731万円 |
| 廃プラスチック類資源化事業費   | 1370万円   |
| クリーンセンター維持補修工事費  | 1億4500万円 |
| 大川柳川衛生組合負担金      | 2億5251万円 |

### ■そのほか

|                   |          |
|-------------------|----------|
| 柳川市市民協働まちづくり事業補助金 | 150万円    |
| 結婚サポートセンター業務委託事業費 | 207万円    |
| 電算システム初期構築委託事業費   | 1億1300万円 |
| 参議院議員通常選挙費        | 2433万円   |
| 市議会議員選挙費          | 4770万円   |
| 国勢調査費             | 2574万円   |
| 救助工作車購入費          | 8000万円   |



外国語講師の派遣、小中学校の営繕工事費などを計上するほか、不登校などの問題を抱える子どもたちの自立を支援する、スクー

助金などを半額にするなどの見直しを行っています。  
また、はり・きゅう・マツサージ施設利用事業についても、近隣市町の実施状況などを踏まえ、助成内容の見直しを行っています。

### 総合運動公園整備のため基本計画を策定

社会基盤の整備のための経費としては、柳川市北部地域の幹線道路として整備を進めている大和枝光線や高橋中牟田線などの道路整備事業費に加え、西鉄柳川駅東側の土地区画整理事業費や中島地区の密集住宅市街地整備事業費などを計上しています。



上乗せ補助を含む小型合併処理浄化槽設置事業補助金のほか、今年度は、焼却処分している廃プラスチック類を分別収集して資源化を行う、廃プラスチック類資源化事業費を計上しています。

### 結婚サポートセンターを開設

そのほかの事業として、市民と市の協働によるまちづくりを推進するための市民協働まちづくり事業補助金や若者に出会いの場を提供するための結婚サポートセンター業務委託料、市議会議員選挙費、救助工作車購入費などを計上しています。

## 特別会計

### 国民健康保険特別会計 97億6614万円

自営業者や退職者などの医療費を給付する会計です。主な歳入は、国民健康保険税19億6789万円、国庫支出金28億871万円。主な歳出は、保険給付費で67億9866万円、共同事業拠出金13億2136万円です。



### 後期高齢者医療特別会計 9億6149万円

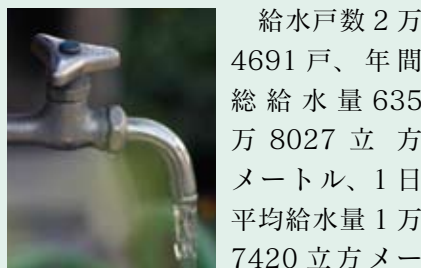
75歳以上の高齢者の医療費の支払いは、県後期高齢者医療広域連合で行い、保険料の徴収や納付書の送付などは市が行っています。主な歳入は、保険料6億7297万円、一般会計繰入金2億8701万円。主な歳出は、後期高齢者医療広域連合納付金が9億3663万円で全体の97.4%を占めています。

### 老人保健特別会計1343万円

平成20年4月から後期高齢者医療制度が始まりましたが、平成20年3月以前の診療分や請求遅れの医療費をまかなう会計です。支払基金交付金や国庫支出金、一般会計からの繰入で運営しています。

### 水道事業会計（企業会計）

|       |           |
|-------|-----------|
| 収益的収入 | 12億7585万円 |
| 支出    | 11億8905万円 |
| 資本的収入 | 2億4014万円  |
| 支出    | 6億1856万円  |



給水戸数2万4691戸、年間総給水量635万8027立方メートル、1日平均給水量1万7420立方メートルを計画。収益的収入は水道料金、加入金など。収益的支出は受水費や人件費、工事請負費などです。資本的収入は企業債、出資金、工事負担金など。資本的支出は建設改良費や企業債償還金などです。